湖月抄

とうかつ

末摘花

并　源氏十七歳より翌年まで

[illegible]

同年の冬のまきの巻は源十七歳の三月より翌年の三月まで

次の年の春の巻は源十七の二月より翌年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

猶後世に新行法と云へり今の義と純義と云ふ通和漢に然云云其謂不可用之孟王孫云云世を不賜平人云云

[illegible]

孟文補の令嬢[illegible]の母[illegible]文補と離別して今は純前の妻

[illegible]

孟文補の令嬢[illegible]

[illegible]

孟文補の令嬢[illegible]

[illegible]

孟文補の令嬢[illegible]

友三友者為誰琴能輙拳酒酒能輙吟詩三友遞相引循環無止時二弾忽沖淡詠暢四友猶恐
中有間必醉弥縫之白氏文集

いはは一ちゃ　細河海信ノ事とちく但酒のみすぎて主婦ハ女の学のちんもつきるるこころあり
はようそうし　令姫も其附なる内裏を退おりて主婦へよりれこそり

海ほうのあうい　細芸ノ人脚ゴ名ものめ形
の後ろ　むろへ　ふう　素八令
姫うまし　姫こ　そ　ち　ひ　ど
というの　家の　ま　く　上よ
ら　あ　ひ　ち　ま　里　ま　く　と
必ら　け　め　の　ま　や　孟　令姫
も　里　沢　ま　ひ　ま　主婦の所ら
こ　ま　ま　ら　む　ま　こ　細令姫の
ものの　ま　ま　ら　む　ま　こ　ま
琴　ま　の　ま　ま　ま　ま　ま　ま
き　秋　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　紙　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

主婦の方へ　令姫ハ　ま　く　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しめうちまはの作れる
うのまあよりつまたと
細漉の実法よりまれ中
と内裏より作あるとや
かなり
こと人のいとんやうよと
うるあるとうれて
金紙の紙きりう分うて
人のこしいあるあるいせそ
うるうの中と紙きとしつそ
ハ金紙の分れるしいろうれ
るあるんとく、紙金紙ハ
れめのとれよられいくの過
うんとんのうこに 書摘のうさ
とやうしうてあうそハうし
のうとくやせんそ腰有勢
へ立おのうく
をいうハ
立 遠垣かり

しうちまはの作れる
ふまうとくはれうくの
ぬやつまと漉をいくくうハけとんしけをん
とうとうれいけうとうとうとうとひく
細漉の実ゆりの作
こと人のいとんやうよと
答
うるあるとうれて
金紙の紙きりう分うて
人のこしいあるあるいせそ
うるうの中と紙きとしつそ
ハ金紙の分れるしいろうれ
るあるんとく、紙金紙ハ
れめのとれよられいくの過
うんとんのうこに 書摘のうさ
とやうしうてあうそハうし
のうとくやせんそ腰有勢
へ立おのうく
をいうハ
立 遠垣かり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やまとの月よりおくれて。但上のとしのこよひの月は。はるかにおくれ。十六日の月といふべきやうなれ
ども。十六日にあたれり。師 十六日にあたれり。
細 西行きく月といふべきやうなれども。
花はさかりなる月のかすみもとめがたきに。入方まで雲なきこののちの山にて。をそくまでかすみ
のこりて。月をまちえたるこそ。
師 なかなかやうやうにたちくもりなどこそ。
細 又ひさの山は。但るの花
師 なかなかやうやうにたちくもりなどこそ。
細

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

幾人の[illegible]

[illegible]

[illegible]

いうろうやうにて
源氏の須磨の巻
にはいうろうゆへとと
ろそうろうれども
細文のつゝみかたにうるはしくは
ゆかしくれとあるうるはしき
つゝみをとし源ゆへとゝ
仰 表紙の紙を金箔の紙
にて用なり
紙こそ細式上のことなれ
てきうろうの白くゝの章乃
御心 新注
仰 表紙もつるくよひ
つゝみてみるうんとゆへ
くゝせ源をゝ今つるく
よゆうにまはせいまはもの
ゆゝしくゝ

まゝうまゝよゝ
ひて金箔をせめ給へいうるやうぞい
とうるうこゝとこゝまゝうるゝやうゝ
りのゝとゝ思ひてのまへいとおゝとも
ひうくゝうそくゝうれてあげなゝさはこゝとを
ゆゝしけ給へゝゝゝゝこのゝりのゝく
このゝりゝゝこゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝんゝうゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
しげゝぬゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟 主人公身之
仲 未摘のこゑ

孟 孟子の門弟を始めとして
主人よりもてなしを受
伝のうへ有り難き事を命ぜ
未摘を召ひ寄せて命ぜ
ん人なり

孟 孟子の門弟を始めとして
主人よりもてなしを受
伝のうへ有り難き事を命ぜ
未摘を召ひ寄せて命ぜ
ん人なり

孟 曹司房
未摘の元服
未摘の元服
孟子の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今点八和ゐつひそとはもをわつしぎろ後よとへ者阿世ゑてまと云えれやうに用ひんゐうハひがことゑ
へ進退幸のゑく後ろと毛ゑたにうつくうゑ礼ゐしてしそへいるかうへ人のゑろ後ハ毛へ者
しそうとおまいまもうとのつる洲進退とぎゆへてとろうにけゑやと笑ても後ハぎゆ毛語
と後ぐさりや光公洲色と用ゐてり天文八年五月十二日於二誠定所一講談の時洲世とうろ云く
日本紀曰御御喉咽進退而血泣懐抱無所誠言 垂仁天皇巻
ゑゑもゑさろ 細 ゆくれハ後りぎとやハひろそゐぬなぎ世申れゑぎとれなろ毛れいるゆ
よけくうとうと 阿 絆 仰 くくゐて毛ゑ
うひつくて 花毛ゆにくひつくとゑにうそ後つそとうぎめゑゆハとゆうどひろハロとうぎてれいるぬと
ちくへ鑄ゑどの後後の阿後毛者くをこへく職後仰磬とうちゆれそのう後ゑをやうくぎのゑま
を通ぎろくひつくそぎらめんこうハなゑきゆへまりぎゑゑてうりされども源氏とうぎ後んつそくえい
ひおぬゑゆとこうまうこぞろゐあづきけきとゑ後 細 茨ゑよみくこう後つうてとくぎめん
くハロつあとくされも紙ハゑ者ゑぎこうゆハうこ 仰 後よりのけうゐひそとゑいろんト
ゑそうよいくそくきの
人後ゑハゐくぬ 細 ハ後毛ゑ
ひあ毛ゑと後ゑやくよハひ
もゑゑぎ毛多づくの後や
うに後後ゑうへゑうくく
ゑて毛つひの自の後と源の
ゑくぎくゑそちくゑゆり
ゑゆりとくゑゆく
浪じゑうへゐゑてと 暁 ゑの
後くりひて源氏のゑゆく 仰 あ
ゑへてハ後ゐれゑ後ゑ心く

いるぬとも 細 ゑハゐくて花紙よハゆ後ゆゑくゑゆうゑそうてよゆくれゑ嘉 仰 ゑハ上ゐハ世
ゐの後と毛ゑくさゑハくゑゆうにとくゑゆうハゑくくゑ

とくゑれゑ後ゑ
やゆくゑゆものゑへ人ゑ
をゑ後ゑくて後ゑ
ゆとゑ後後ゑゆ後
ひよゆり食後ゆゑゑ後ゑ
ゑりごこのゑゑ後ゑ人ゑゑゑ世よくぐひゑゑ後
ゑ後後のゑ 音 聞 ゑくゑ後ゑくゑくゑてれ
どくゑ後ゑうゑゆげゑれどくゑゆひとゑ後
よハゆゑくゑれゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑ
ゑくゑゑれゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑ

方
孟 後ゑゑゑゑゑ
食後ゑゑ
後ゑ
後ゑ
後

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高樹のもとに君をこそ心かけ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟衡黒

孟老人

細

上藤

細

上藤

細

細

細

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぎーさくと人　細 政官と
で弁か納言内記外記史をど
とえべしらくしき様をえく
明治政の手く所政官ハ大
政官ーえーとの政と行ハ三公
納言参議ぎーの下につて
ミ事をとり行ハ左右ハ弁
か納言をぢ公事をかど
よわる時のぢをとりて
うりーうてあるく代表
のこ面ハ長米をとるハ
面ろく似ちとぞすりく
ものか記人なこさ
盃この祈をえくるはしあ
ミにかるくさんもなるさ
ミーひさるのいくく
てとれーく体のわぢ事を
ドうくく

卯月さて　細 今事搦の意
ぎーく未じもりれる
所のあをえくみハ只みる
面産をえくわのさひの
いさこさけくぞハ生ぐれた

河俊代官

ぢーさくと人　細 政官と
で弁か納言内記外記史をど
とえべしらくしき様をえく
明治政の手く所政官ハ大
政官ーえーとの政と行ハ三公
納言参議ぎーの下につて
ミ事をとり行ハ左右ハ弁
か納言をぢ公事をかど
よわる時のぢをとりて
うりーうてあるく代表
のこ面ハ長米をとるハ
面ろく似ちとぞすりく
ものか記人なこさ
盃この祈をえくるはしあ
ミにかるくさんもなるさ
ミーひさるのいくく
てとれーく体のわぢ事を
ドうくく

卯月さて　細 今事搦の意
ぎーく未じもりれる
所のあをえくみハ只みる
面産をえくわのさひの
いさこさけくぞハ生ぐれた

我ものよこて　我ものわのわ
やめ尺くわくくと云ぞう
られ我国よこて万くれ
てえくさうくれ分くハ分る
くくもくく

松の雪乃く　細 只雪の深つ
りくさくと面ちく花松の
雪ハ白くくくくをむ中ハ
ものやうれいあくくる
なくくしのよくやハくまよハ
松の雪くくよくて白くに松
ハ所くを面のくくをつくもり
河　勅奏彰歳寒一とゆう
雪雪よも白ものくくハ松の
雪ハ白くくくくを花又眼
前よこ海木くくりハ松よ
くつくくる雪ハあくくる
よくくもく

あくのうくさ松ちひこれはくる
れるくくくくくもやくくくもみ
うよ　神仮ものくれるくくと
白とくて雪くくくくくくと
くくくくの雪くくものくくと
くくくくくくくくくくくくくく

門のいくくゆくくくくがひて
そくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
つくる山里のくくくくくくく
人くくのくくくくくくくくく
也くくくくくくくくくくくく
人人くくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けてみんとさく此打も清くあやそうしうりーーー

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神はさんひともなきこえ　細川殿
の神やさうさうん人もあり
あくに　師　源の四神めくこと
ても　源やをんなもあきたま
ぬの　志は　[illegible]
あれてそいるもろ　師　家の
きつまとくらめんうかと
あるし　と　程　うはあやへてと
原あやしきまひてまつじ
よいあしとしとさうひをひ
ぶ　源　これも　[illegible]
このうちは　[illegible]
なりやしきなよは　主　[illegible]
ぬづくのあんと　[illegible]
[illegible]

[illegible]

細川殿の御人　師　主殿の　[illegible]　志と　[illegible]　てのあ　[illegible]

[illegible]
神はさんひともなきこえ
きんぐーよくそいくのあひてぐくよりのい
源氏主殿のかとうへかーあくく
れまうぐぐさてもあきまーのくらに
源のあれのふさあく
やうれてそいをづくのはくれぐりあ
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

なかつてさ　細源氏物語の横笛に　河百番
そそぐとも　古今　人もれを　ゆかしく　紅のまつひ花の　ちよいてそん　紅の花いましりさけいやら
てまつりつひ　あよ　書　花　細紅のをうさ　花　ちよ　人をあくよい　梅　ちよん　盃　今あく
いろこさ　ろみ　ちよ　ちよ
車の引　ちよ　ちひの　の　ちよ　源　ちよく
ちよ　の　ちよ　細今梅　いろ　ちひ　ちよ　書　ちよ　ちよ　ちよ　ちよ　ちよ　源　ちよ　ちよ　ちよ　ちよ
ちよ　梅　ちよ　ちよ　ちよ　ちよ　ちよ

花政事要略、衛門府風俗、哥に云多〻、良女の花の如加坂祢利好辛夜減紫色好辛夜ごとの花の花ハ〻ぐむめの花しゐるゝと来あやまれる宮殿たゝ〻ひりのゝハ〻ぐらめの花と
いふとゝ〻ぐ梅の花とゝ〻く保ハのゝ面へ〻ひ〻ひ
うんゝめゝく本拵ハ青陸の文乃姫ゑなれば文三笠山乃ゝとめしハのゝつゝ入りめゝの辛ハ
拵社ゝてゝうゝ人附ゝその所れ名をゝゝゝあり
ゝゝ〻ゝに三笠の山社とゝめゝゝハ表日吹非ハ
ゝ山非の社ゝれハゝのゝゝりゝあゝゝゝ
のりて表日ゝゝ三笠の山乃ゝゝゝゝ
あゝず来ゝゝ霜鈴
細金梅のゝてゝ明花
ゝゝまゝそこゝまゝゝゝ一人の
女房の匂ゝゝゝ晩あ
ゝゝゝゝゝゝ
匂へゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いくなかうしろ地ろりに
孟 帝よりおの附臭とえん
つのあひーにうりあて
あをうとそてあて
細上下つをうろをきこ市場
みちうぐーとの紫農殿
ぐのめくく孟氏格もも
きもくをかて
あうをくいをしーをを
孟 係の脇息よりうり
ておりをーぐ後巻よう
ちうりて市裝のそけ
うどとうひまく咲を
きれうとのきうのふ
かくへー一注孟をき係
をーめ係
きやーをいうーうーげく
けのくくをしく 河 鏡臺
唐匣撥上匣撥鬢乃
具入うう地へ一強ううをう
四く
きも地ーうーん 係氏り
をうりまひ 性家来とをき
寺務のをうをも係氏ハ

ものりいとおーーイ
界
りをてし面をでけうくそくしを
てうちうけて出ぐんぐきこのをどけかをや
とてうひ絡ようりをうをめきをうをき

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]